

# 令和5年度 学校経営方針

## 学校力をバランスよく高め、 児童の「多様な他者との関わりの中での自己形成」を促し、 児童・保護者・地域から、より信頼される学校に

学校力には次の6つの要素がある。学校独自に発展を遂げているもの(スクールアイデンティティ)としての(1)本校ならではの特色ある教育、(2)保護者や地域との連携・協働。そして、どの学校にも共通する重要なものとしての(3)安全を保障する力(危機管理)、(4)成長を保障する力(児童指導)、(5)学力を保障する力(学習指導)と、以上を運営していくものとしての(6)職員の組織力。これら6つの要素の力をバランスよく高め、児童が多様な他者との関わりの中で自己形成を促進できるようにし、児童(通ってよかった)・保護者(通わせてよかった)・地域からより信頼される学校にしていきたい。

### 1 本校ならではの特色ある教育の充実 ※[ ]内は主担当。全てに特に進捗が遅いものには教頭が関わる。

#### 学校教育目標達成のための「目指す子ども像」と「教育指標」の重点的取組 (本校の特色ある教育)

教育目標	美しさのわかる やさしい子ども	よく考え 勉強する子ども	健康で たくましい子ども
目指す子ども像	<b>1</b> 心のコもった挨拶、返事、言葉遣いのできる子 <b>2</b> 互いのよさや努力を認め合い、思いやりのある子	<b>3</b> 人との関わりの中で、考えを広めたり深めたりし、学び合いができる子	<b>4</b> めあてをもち、体力づくりや健康な生活に向けて、規律正しく粘り強く努力できる子
重点的取組	<b>1</b> 生命・ひとを大切にする人を育む視点で、性の多様性を踏まえた人権教育について、全職員で組織的に、各学年の学活・道徳等の年計に位置づけて計画的に継続指導していく。 <small>[人権・特活・道推教・教務]</small> <b>2</b> 自分で考え判断し行動する「 <b>自治力</b> 」の育成を図るため、日常的に意識付けをしていく。 <small>[児指・特活・担任・教務]</small>		
	<b>3</b> 挨拶・返事・言葉遣いの意義を理解させ、その場指導、焦点・重点化指導を推進し、習慣づけを図る。 <small>[児指・児童会・学指・担任]</small> <b>4</b> ワールドグループの活動や縦割り班清掃、異年齢集団活動等により、顔の見える関係づくりや思いやり、上級生のリーダーシップや主体性を育成する。 <small>[特活・清掃・交通]</small> <b>5</b> 「ありがとうの木」や各学級の中で親切やよい行い、努力等を見つけ、認め合うことができる子を育成する。 <small>[道推教・人権]</small>	<b>6</b> ICT機器を効果的・計画的・積極的に活用し、学習意欲の向上とプレゼンテーション力の育成を図る。 <small>[情報教育・学指・担任]</small> <b>7</b> ペアグループ学習や多様な人と関わる機会を工夫して設け、話を聞いたり意見を伝えたりして学び合い、コミュニケーション力を育成するとともに自己形成を促進する。 <small>[学指・生活・総合・担任・教務]</small> <b>8</b> 年間図書貸出数と家読習慣の定着を継続し、読書の質の向上を図る。 <small>[図書室担当]</small>	<b>9</b> 適切なめあての設定と定期的計画的に振り返りを行わせ、めあて達成のための努力を認め称賛する。 <small>[担任・特活]</small> <b>10</b> 積極的児童指導により、自ら健康で安全な生活と規律(防災・防犯・感染症対策・姿勢・廊下の歩行・食育等)を向上させる。 <small>[児指・安全・養護・栄養教諭・担任]</small> <b>11</b> 体力向上に向けて、体育の授業時の運動量の確保、外遊びの奨励、業間運動の工夫を行う。 <small>[体育・担任]</small>
教育指標	<b>5</b> 「ふるさとを忘れない、世界の中の日本人」 <b>12</b> 地域の人や自然・社会との関わりの中から課題を見つけ、体験的・協同的学びを通してふるさとのよさを知り、大切にしていこうとする態度を育てる。 <small>[生活・総合]</small> <b>13</b> 体験的・課題解決的な学習を通して、諸外国の異文化や価値観を知り、広い視野をもってそれらを尊重し、その上で日本のよさや伝統文化について理解を深め、大切にしていこうとする態度を育てる。 <small>[外国語・国際理解]</small> <b>14</b> 幼保小中の連携を密にし、吹上ブロック小中一貫教育の充実を図る。 <small>[教務・キャリア・教頭]</small>		

### 2 本校ならではの特色ある家庭や地域との連携・協働

- PTA組織・活動の見直しを受け、スムーズな運営に向けて積極的に協力する。  
[教頭・教務]
- 学校ホームページ(以下HPと表記)や各種たよりについて、記事を見て家族での話し合いが促進されるような内容を工夫する。また、教員はHPに月3回以上の更新を行う。  
[情報教育・担任]
- 正しい生活習慣の育成、充実した家庭学習の実施、歩いて登下校に向け、家庭の協力を得られるよう連携して取り組む。  
[学習指導・養護・交通]
- 保護者や地域の運営する「児童の登下校の安全確保に関する ①旗当番編制 ②登下校班編制 ③見守りボランティア」について、情報を共有するとともに連携・協力する。  
[交通・教頭]
- 学校運営協議会の承認と協力を得ながら、コロナ禍における学校教育の現状を共有し、学校行事や諸活動、教員の業務等について計画的に委譲・統合・削減していけるよう検討を進める。  
[教頭・教務]
- 吹上ブロック小中一貫教育のグランドデザインをもとに、重点目標・取組内容を意識しながら、3校の連携を強化し、合同研修会や専門部会等の活動の充実を図る。  
[教務・教頭]

### 3 安全の保証(危機管理)

- (1) 生命尊重・人権尊重  
児童に人権や人権尊重の意味を理解させ、生命尊重・人権尊重の精神を学校中に満たす。 [人権]
- (2) 学校安全
  - ① 全国の学校事故を取り上げ他山の石とし、マニュアルの重要事項を確認する機会とする。 [教頭]
  - ② 防災・防犯・安全に関する意識や関心を高め、自ら危険を回避しようとする態度の育成を図る。  
[防災教育・養護・安全教育・教頭]  
[教務・安全教育・特活・地域連携・教頭]
  - ③ 「高富士山全校遠足」の運営を維持・改善する。
- (3) 児童指導上の問題行動等に対する組織的な早期対応
  - ① 児童指導主任が児童指導やトラブル処理の中核として機能する組織を運営する。 [児指・担任]
  - ② 児童への指導や事実関係について、保護者と連携を図る。 [担任・関係者]

### 4 成長の保証(積極的児童指導・学業指導)

- (1) 規律(やるべきことをする)と自由(主体性を生み出す)の重視・両立(教基法第6条) [児指・全職員]
- (2) 指導・称賛・傾聴の重視 [全職員]
  - ① [指導]児童が納得できる指導をする。 ② [称賛]児童が誉めてほしいことを誉める。
  - ③ [傾聴]児童と意見が異なっても児童の意見に耳を傾ける。
- (3) 望ましい集団育成の充実 [児指、特活]
  - ① 自己存在感 ② 共感的人間関係 ③ 自己決定・集団決定の場 を満たした集団
- (4) 望ましい集団育成・規律育成の具体策としての自治力の活用 [全職員]  
「存・共・決」を意図的に成立させるための中心的な働きかけとして、「自治力」を育成する。自治力とは、「やるべきことについて、上の学年の児童を中心として声を掛け合ったり、注意し合ったりしながら、自分たちの力で考え判断し、できるようにしていく力」のことである。  
その場にいる上級生を中心として自治力が働くよう指導しながら、上級生の自己存在感、そのグループの共感的人間関係、上級生の自己決定、グループの集団決定の成立をより多くしていく。

### 5 学力の保証(学習指導)

- (1) 他者との関わりの中での自己形成の重視 [全職員]  
主体的・対話的な深い学びは、他者との関わりの中で自己形成を重ねることで生まれる。
- (2) 一人一研究授業による授業力の向上 [教務・学指]  
研究授業と授業研究を通して授業力の向上を目指す。授業のねらいを達成し、且つ、授業の内容や方法(ICT機器等)を活用して他者との関わりの中での自己形成を促す。
- (3) 家庭学習の充実 [学指・担任]  
児童の実態に応じた適切な宿題と家庭学習を充実させる。自主学習の例を児童と保護者に示すとともに、児童が帰宅後に困らないように学習の定着と意欲の向上を図る。
- (4) 通常の学級における対応を踏まえた、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 [特支教Co.・特支学担・担任]
  - ① 組織として「困り感」のある児童の正確な実態把握と、適応・自立に向けた合理的配慮を行う。
  - ② 保護者や関係機関と連携した次のステップへの準備を行う。
  - ③ 学習環境・授業のユニバーサルデザイン化について、下の観点に即して、実態に応じて組織的に推進する。

安心感	居心地のよい学級	1 ルール明確化 4 教室環境整備	2 よさを見つけ称賛	3 違いを認め合う場を重視
分かりやすさ	分かる授業	1 授業規律の確保 4 失敗や試行錯誤の許容	2 見通しをもたせる	3 視覚的・具体的指示 5 習熟度に対応した目標設定

### 6 職員の組織力の向上

- (1) 学校評価をもとにしたPDCAの重視 [教頭]
  - ① 学校評価結果をもとにした組織的・計画的・継続的な検証改善を確実に持続する。
  - ② 「学校評価を踏まえた次年度計画に向けた検討事項」について、適切な組織的・計画的・継続的な検証改善を行いながら、確実に実施する。
- (2) 学校課題研究の重視 [教務・学指]  
学校課題研究が、関係職員の日常的実践の中で強く意識されたものとなるよう、また、研究の成果と課題が、関係職員で意味あるものとして共有されるようなものとなるよう組織的・計画的に運営し、学校課題研究が児童の健全育成ならびに関係職員の資質能力向上に資する(勤務してよかった)ものとなるようにする。
- (3) 凡事徹底 [教頭]  
服務規律、法令と指示の遵守、不祥事防止、当たり前のことを当たり前に行うことを徹底する。
- (4) 具申や提案が重なる組織 [教頭・教務・全員]
  - ① まずは自分の案をつくり、組織として具申が重なり、案が精査されていくように動く。
  - ② どうすればいいか尋ねるのではなく、担当者が組織的に「案」を考え、具申する。
- (5) 業務改善・働き方改革の推進 [教頭・教務]
  - ① コロナ後の学校教育の現状を踏まえ、意義の小さい教育活動等の統合・削減をためらわずに行う。
  - ② 勤務終了時刻を意識した、放課後の組織的活動、教材研究や事務処理の時間を確保する。